

所員研究会の研究授業に向けての取組を紹介します！

本年度の所員研究会も年20回の予定のうち既に10回が終了しました。現在、10月、11月に実施する研究授業の学習指導案作成を行っています。今回は、その研究の一部を簡単に紹介します。

- 1 研究主題 子どもたちの未来に向かい、学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指す授業の創造
～ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの工夫～
- 2 教科教育研究班の研究



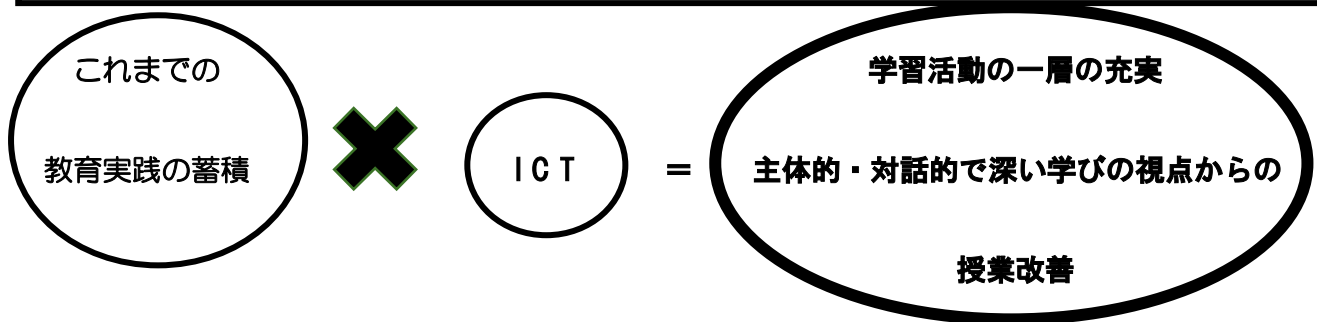
国 語 科 教 育 研 究 班	今回の授業	中学校第3学年国語科 単元名 状況の中で（題材名 故郷）
	本時の目標	人物関係の変化の理由について叙述を基に捉え、文型に沿って自分の考えをまとめることができる。
	授業仮説	ICTを活用してグループで考えを可視化し、交流させることで、自分の考えを持たせ易くすることができるであろう。
	使用するICT	手立て① Google Jamboard 「調べる・深める段階」で思考ツールとして活用することで、視覚的に考えを交流させる。 手立て② Google Forms 「まとめる・振り返る段階」で本時の目標に対する自分の理解度を確認する。

算 数 科 ・ 数 学 科 教 育 研 究 班	今回の授業	小学校第6学年算数科 単元名 立体の体積
	本時の目標	三角柱の体積が（底面積）×（高さ）で求められることを理解し、それをもとに角柱の体積を求めることができる。
	授業仮説	ジグソー活動や効果的な場面でのICT活用を図ることで、児童が主体的、かつ、意欲的に学習に取り組むことができるであろう。
	使用するICT	手立て① Google Jamboard 立体図形を視覚的にイメージし易くする。 手立て② Google Meet 学級内の離れた他者とでも、互いの考えを共有しながら自分の考えを深められるようにする。

※ 教育研究所では、文部科学省のリーフレット「GIGA スクール構想の実現へ」の3ページ（裏面に抜粋）を参考にし、GIGA スクール構想の原点を見失わないように努力を続けています。

G I G A スクール構想

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する
- これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



	「1人1台端末」ではない環境		「1人1台端末」の環境
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> 教師が大型提示装置を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる。 	学びの深化	<ul style="list-style-type: none"> 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる。 → 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> 全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難） 	学びの転換	<ul style="list-style-type: none"> 各人が同時に別々の内容を学習 個々人の学習履歴を記録 → 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> 意見を発表する子供に限られる。 		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有 子供同士で双方向の意見交換が可能に → 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる。

※ 文部科学省リーフレット「GIGA スクール構想の実現へ」の3ページ一部分を抜粋

▲▼▲▼本通信でお気付きのことや研究に関する問合せ等、御遠慮なくお電話ください。▲▼▲▼

都城市教育研究所（市役所南別館3階） 所長 曾原 良平 電話 23-7167（直通）

